

西区の皆さま

いつもお世話になり ありがとうございます。

石井ひでたけ です！

石井ひでたけホームページ
<http://www.ishiihidetake.com>



兵庫県議会議員
石井ひでたけ県政報告
vol. 11-9 2006年新春号
まっすぐに ひたむきに
県政へ 全力投球



発行元: 石井ひでたけ事務所



2006年スタート。



来年度の各部局予算要望政務調査会開催
(1月11日～13日の3日間)



今年4月から導入の県民緑税について
先行して実施している鹿児島県議会を
訪問(2月6日)

ホームページをご覧の皆様、2006年もはや2ヶ月が過ぎ、春の訪れが大変待ちどおしい季節となりましたが、ご健勝にてお過ごしでしょうか。

今年 は年明けより仙台の新生児誘拐身代金事件、わずか再開1ヶ月にして米国産牛肉輸入の全面停止、ライブドアショックによる市場の混乱、昨年来の耐震偽装問題、また大手ビジネスホテルによるホテル不正改造問題が発覚するなど、本来あってはならないことが毎日のように起こり、社会全体がおかしな方向へ向っているのではないかと大変危惧しております。

勝ち組・負け組という言葉が氾濫し、IT長者が生まれる一方、ニートやフリーターと呼ばれる若者が急増し、格差社会の二極化をますます実感する中、昨年はついに人口減少社会へと突入しました。

いまこそ日本のあり方、兵庫のあり方をしつかり議論する必要があります。根本的な意識改革をはじめ、言葉だけの‘官から民’ではなく抜本的な構造改革をいまやらなければいつ出来るのかとの思いを強くしております。

現在の県政についてはもとより、10年、20年先の兵庫県のあり方を常に考えながら、初心忘れることなく、‘大衆とともに歩む’この言葉を胸にかみ締めながら本年も全力で県政に取り組んで参ります。

予算を審議する第286回定例県議会が2月21日から開会致しました。

県では昨年末に設置された少子局を中心に喫緊の課題である少子対策の充実を図るため、子ども未来プランを改定し、兵庫県少子対策本部の下、全庁的に総合的な施策の展開を図っていくとしております。子育て世代の議員として少子対策について特に問題意識をもって取組みます。



また、新たな空の玄関口神戸空港を活用した兵庫の活性化をはかり、秋に全県を舞台に開催される「のじぎく兵庫国体」、全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」を皆様のご理解・ご協力のもと大成功させ、阪神・淡路大震災から11年を経て、復旧・復興をした元気な兵庫の姿を内外にアピールしていきたいと思っております。

まだまだ寒さ厳しい折ではございますが、お体をご自愛くださいますようご祈念申し上げますとともに、引き続きのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



警察常任委員会活動報告～委員会でも積極的に発言～

1月の警察常任委員会は閉会中の継続調査事件として「地域住民と一体となった安全・安心のまちづくりの推進」について1月18日に開催されました。その中で県下の犯罪情勢、安全・安心のまちづくりの推進に対する取組み状況をはじめ、今後の取組みとして「安全で住みやすい兵庫県」の実現を目指す方針のもと、繁華街、歓楽街総合対策の推進や防犯優良住宅・住宅地認定制度の導入などの説明を受けました。特に私の方からは現在検討中の防犯優良住宅・住宅地認定制度の件でその認定の‘有無’で、逆に犯罪に遭いやすくならないように十分検討すること、住宅の資産価値の格差を生じないような配慮を要望いたしました。また、1月24、25日には丹波・但馬方面の管内行政調査を行いました。特に都市部と比較して犯罪が少ないこと、また、地域住民のまとまりが強いとの印象を受けました。昨年来の積雪のため、ミニパトの未配置の駐在所等への配置要望が各署共通して上がっておりました。現地調査をして改めて山間地における日々の業務の大変さを痛感いたしました。

県民交流広場事業の本格展開について

事業の概要

(1) 趣旨

勤労者の生活における身近な地域活動のウェイトが高まりつつあることをふまえ、勤労者福祉向上の観点から、全県やブロック別に拠点施設等の整備を進めてきた法人県民税超過課税を活用し、県民一人ひとりが、地域を舞台に、芸術・文化、子育て、消費生活、環境・緑化、防犯、まちづくりなど多彩な分野で、実践活動・交流、生涯学習、情報収集・発信等に取り組むことができるよう、活動の場の整備と活動への支援を行うことにより、生活の拡がりや多様なニーズに応え、県民の参画と協働によるコミュニティの再生・構築をめざす。

(2) 経緯

・16年度は、「生活図書と学習の広場」など5つの整備タイプの中から選択してモデル事業を実施(計11地域)
・17年度は、さらに多様な事例を確保するため、環境・健康づくりなど地域独自の提案も対象とするなど、より柔軟な対応のもと、引き続きモデル事業を実施(計25地域)
・市町・地域の意見もふまえながら、上記2ヶ年に亘るモデル事業の検証を行い、より地域実情に即した右記フレームのもと平成18年度からの本格展開を図る。

(3) 事業フレーム

	内 容
採択期間	平成18年度～平成22年度
地域選定	期間を定めて公募を行い、申請のあった地域(市町の推薦が必要)の中から、県民局が地域の自主性・熟度を重視して選定
助成対象事業	コミュニティが取り組む活動の場の整備及び活動の立ち上げや充実(整備例:集会所、公民館、コミュニティセンター、余裕教室、空き店舗等の改修、増築、新設)
助成対象主体	地域推進委員会(自治会、婦人会、老人クラブ等)地域団体やNPO、地域リーダーにより構成。既存組織でも可)
地域設定	概ね小学校区。ただし、校区の分割又は複数校区での一体的整備など、地域コミュニティの実情に応じ、弾力的に運用
助成限度額	1小学校区:整備費1000万円、活動費300万円を基本に、校区統合・分割に対応した助成額を設定 ●小学校区の統合:1校区の額×統合数(3限度) ●小学校区の分割:1校区の額を分割
助成の特例措置	整備費・活動費間での配分弾力化(200万円を限度)
助成方法	選定した地域に対し、県民局が概ね5年間で毎年度必要額を直接助成
事業財源	法人県民税超過課税収入(第7期:平成17年11月～22年10月)

詳しくは兵庫県のホームページをご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.jp/>

神戸県民局へお問い合わせ下さい。

2月定例県議会に上程の主な条例

●「地域安全まちづくり条例(仮称)」

県民の体感治安への不安を背景に、警察活動に加えて、まちづくり防犯グループが結成される等、地域の安全に向けて県民による自発的、自律的な活動が取り組まれている中、こうした取組みをより確固たるものとし、持続的かつ総合的な施策展開を図る拠り所とするため。

●「食の安全安心と食育に関する条例(仮称)」

現在、食を取り巻く環境は大きく変化しており、食の安全安心及び食育に関し、基本理念を定め、県及び事業者の責務並びに県民の役割を明らかにするとともに、食の安全安心及び食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって豊かで活力のある社会の実現に寄与するため。

●「住宅改修事業に関する条例(仮称)」

住宅リフォーム事業者の登録制度の創設一県が住宅改修業者の情報を集め開示することにより、業者の透明性を確保し、県民が適正な情報に基づき、自らの判断で住宅改修業者を選択できる環境を整備するとともに、業者の資質の向上を図るため。 **など県民に身近な条例が上程(予定)。**

みるみるファーム(貸し農園)のとれたて通信

昨年11月に植えたたまねぎとイチゴも今は寒さに耐え、春の来るのを楽しみにしながら、ひと冬を越しているといった感じです。先日、じゃがいもをふた畝植えました。貸し農園も今年で3年目を迎えました。いろんなやさいづくりに挑戦したいと思っています。



ひとことコラム

予算編成の時期がやって参りました。県民交流広場事業をはじめ、兵庫県の施策が神戸市内において従来以上に直接反映できるように取組んで参ります。



2006年のじぎく兵庫国体を盛り上げよう!!

プロフィール

石井 秀武 (いしい ひでたけ)
昭和41年4月15日生まれ B型 西区学園西町在住
白陵中・高、神戸商科大学卒、サラリーマン生活を経て、
阪神・淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書
平成11年、西区より県議選に出馬するも惜敗
平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選

現在 兵庫県議会議員【1期目】 警察常任委員会委員
ひょうご・県民連合議員団/政務調査副会長
民主党兵庫県連常任幹事 兵庫民社常任幹事
兵庫県宅地建物取引業協会会員 明石青年会議所会員
明石市柔道協会理事 アカシクリエティブクラブ名誉会員
全国介護者支援協会理事(兵庫県支部長)
社会福祉法人相談役 他

石井ひでたけ事務所

〒651-2133

神戸市西区枝吉1丁目215番地

E-mail: voice@ishiihidetake.com

TEL / 078-920-2200

FAX / 078-920-2211

どんどん
ご意見・ご要望を
お寄せ下さい。

後援会会員・サポーター
募集中!!

